



歯科研究会  
磁性アタッチメント義歯の理論と実践



鱒見進一氏

九州歯科大学名誉教授の鱒見進一先生をお招きしたオンライン研究会が12月7日(木)に開催され、19名が参加した。

これまでオーバーレイデンチャーや各種の補綴に適用された歴史ある種々のアタッチメントが

あるが、21年に新規保険導入された磁性アタッチメントをすでに臨床に活用されている先生もこれからだという先生にとっても大変、有益だと思われる研究会であった。

歯科における臨床応用で1950年代には顎骨内に磁石を埋入したり、磁石の反発力で維持を求めた上下義歯が現れたが、いずれも義歯安定性に欠けていた。70年代に維持装置として支台歯に応用した磁性アタッチメントはそ

の材質に欠点があり普及しなかった。鱒見先生を始めとするグループが新たな磁性アタッチメントを開発しISOを取得した。磁性アタッチメントは垂直方向には強力な維持力を発揮するが水平方向には非常に弱く、着脱が容易、維持力の低下がない、技工操作が簡単等の利点がある。形態にはドーム型とコービン型があり、条件により選択する。保険適用の支台歯の適応基準は臨床的歯冠歯根比1対1以下、動揺度1以内、ポケット3ミリ以下である。支台歯形成、印象採得、

キーパー付き根面版の製作、義歯床と磁石構造体の固定の注意点やMR撮影における金属アーチファクトを防止するアタッチメント除去や経時的顎堤変化へのリライン法についても詳述した。保険適用外の可撤性有床義歯や可撤性ブリッジ、外科手術後の顔面補綴、オプチュレターなどに活用した幅広い症例には目を見張るものがあった。今後、これらにも保険適用されるよう願う講習会であった。

理事 照屋 正信

抄論

『きょうから始めるコロナワクチン解毒17の方法 打ってしまったワクチンから逃げきる完全ガイド』

副会長 樋口 豊

テーマに挙げた新刊本をご紹介します。

著者は、大阪市立大学(現・大阪公立大学)名誉教授の井上正康氏。次のお二人との対談も収録されています。

薬を専門とされる東京理科大学名誉教授の村上康文氏。もう一人は京都大学名誉教授の福島雅典氏。お三方ともいわゆる『ワクチン反対派』です。

井上氏はコロナ禍当初より、行動制限等にも疑問を呈し「日常の活動を止めず冷静に、免疫強化・手洗いがい・口腔ケアを中心とした対策を」とそんな事を提唱していた方です。

この本は「一般向けですが、多様な観点からコロナ

ワクチンの問題指摘と根拠も示し、政治や製薬会社が絡む医療ビジネスの闇と悪にも触れています。

政治といえば大阪泉大津市の南出賢一市長は、公表された事実に基づく分析を示しながら慎重論を展開しています。公人として市民を守る使命感と勇氣に溢れた立派なリーダーだと思えます。

彼等のように国策と異なる主張をする方々の意見が正しく報道されることは極めて稀です。なぜ、推進派と反対派それぞれの専門家を公の場で議論させないのか全く不可解です。加えて最近では「陰謀論」への注意喚起のような報道まであり、「そこまでするか!」

マイナカードの推進と保険証廃止、オンライン請求義務化も強引という点では非常に似ていると感じますが、納得できる説明も対応もない不誠実な姿勢に「陰謀を画策しているのは、どっちだよ!」と思うのは私だけなのか?

言論や行動の自由を奪い、報道操作をして国策推進する強引さは、戦前の日本を想ってしまいます。私自身、偏重思考のつもりはありませんが、特にコロナ禍以降、政治家や学識者らしき人が国策の後押をする報道には胡散臭さを感じます。

「元々「打つか打たぬか」は、利益不利益の説明と根

拠が充分にあったうえで、納得して受け入れるのもよし、納得しなれば無理せずともよし、個々人の自由な選択が大前提のはずです。その点でもこの本の様な反対論と主張は、判断材料の一つとして広く公に認識されるべきだったと私は思います。

医療知識の有無にかかわらず、健康な人が同調圧力(義務化のような雰囲気)に呑み込まれ、判断つかぬまま止むを得ず(半強制的)に接種を受けることで不健康に陥ったり、ましてや死に至ることがまかり通るのでしょいか。

でも民主主義国である以上、政治・官僚・報道・医療等の問題に対して物言わぬ国民にも責任はありま

文書発言  
「新たな戦前」から「戦争前夜」の臭い

大会代表 仲里 尚実

「やられる前にやれ!」

昨年の国会答弁で岸田内閣は(集団的自衛権行使で)先制敵基地攻撃がありうることを認めた。やられる前にやれ!ということである。軍事侵攻が続く国際情勢の中で、日本の世論も「先制攻撃」に反発する空気が薄まっている。

最大の米軍基地を抱える沖縄が真っ先にやり返される。過去の沖縄戦同様な惨劇が繰り返されることを私は容認しない。

【私たちは大丈夫「目線」】  
先制攻撃容認者は仮想の「安全地帯」から眺めている。突然殺される「敵国市

民の目線や、敵の報復で殺される自国民の目線でもない。自分や自分の家族は安全で、日本の防波堤になる地域だけが戦争状態になる...と考える。

自衛隊は各方面のすべての指揮所を、地下深く堅牢な構造物にする計画だ。本土も含めすべてが攻撃される前提である。私は容認しない。

【戦争体験者の激減と地域温度差】  
去る大戦の地上戦や空爆、原爆の体験を語る人口は数%となった。政権の座にある誰も戦争の悲惨と空腹の体験がない。語り継ぐことがますます困難に

なっている。毎日のように軍用機の騒音被害・環境破壊(PFAS)その他、犯罪が新聞紙上に載る沖縄県と他県との温度差は大きい。沖縄でも基地を抱える自治体か否かで「温度差」がある。

【自衛隊への評価の変化】  
50年前、自衛隊の駐屯地が開設されたが、沖縄戦を体験し「軍隊は住民を守らないことを知る県民は激しく反発した。自衛隊員は制服姿で街を歩くことができなかった。時を重ね、離島からの急ぎ搬送や不発弾処理などで実績を重ね、沖縄県民から受け入れられるようになった。

そして気がつけば現在、宮古・八重山・与那国島に至るまで自衛隊基地が展開し、公道を公然と走り訓練

を増加している。

【第9条】旅券及び査証に関する日本国の法令の適用から除外される。かつて沖縄に風疹ウイルスが持ち込まれ400余名の聴覚障害児を生じ、近年では、新型コロナウイルスの感染を広が

た。

【第13条】有体又は無体の動産の保有、使用：租税を免除される。民間並みの自動車税及び軽自動車税が課税されない。

【第17条】被疑者の拘禁はその身柄が合衆国の手中にあるときは、日本国により公訴が提起されるまでの間、合衆国が引き続き行う「基地内に逃亡すれば日本当局による起訴が困難。合衆国の軍当局は：裁判権を行使する第一次の権利を有する(ii)公務執行中の作為若しくは不作為から生ずる罪」基地外での公務中の事件・事故は日本に裁判権がない。犯罪者は軍法で裁か

るようになった。

【「負けない秘訣、それは「勝つまで諦めない」(辺野古の合言葉)】  
去る大戦で沖縄は本土防衛の「捨て石」とされ、戦後は27年間、米軍の支配下に置かれた。復帰後も米軍基地負担に喘いでいる。しかしこの困難の中で沖縄県民と本土の連帯する仲間たちは闘い続けてきた。

この国の政権は、米国のオスプレイを購入する唯一の国であり、墜落すると「不時着水」と発表する対米従属政権でもある。

負けないための条件は、「学び・知り・発信(発言)すること」「勝つまであきらめないこと」だ。

文書発言  
日米地位協定は不磨の大典か 日米地位協定の改定を求める

大会代表 照屋 正信



駐留する米軍人・軍属およびその家族の地位を定めた地位協定(旧行政協定)は60年改定が叫ばれても不動である。

それは28条からなり米軍に様々な特権を与えている。特に問題と指摘されるのは以下である。

【第3条】施設及び区域内において、それらの設定、運営、警護及び管理のため必要なすべての措置をとることができる。つまり国内法が適用されず騒音、環境汚染、演習、基地への立ち入り調査の拒否等が容認されている。飲料水や田畑に流れ

込むPFASの発生源調査も拒否。

【第4条】返還するに当たって：提供された時の状態に回復し：日本国に保障する義務を負わない。現状回復は日本政府が肩代わり返還跡地からPCB、ダイオキシンなど有害物質が発見されている。

【第5条】船舶及び航空機、車両は：使用している施設及び区域に出入し、これらのもの間の移動し：日本国の港又は飛行場の間を移動することができる。道路使用料その他の課徴金を課さない。民間港、飛行場の自由使用。その使用料(高速度路含む)は無料。近年、自衛隊との共同訓練や米軍機、艦船の民間施設の使用が

増加している。

【第9条】旅券及び査証に関する日本国の法令の適用から除外される。かつて沖縄に風疹ウイルスが持ち込まれ400余名の聴覚障害児を生じ、近年では、新型コロナウイルスの感染を広が

た。

【第13条】有体又は無体の動産の保有、使用：租税を免除される。民間並みの自動車税及び軽自動車税が課税されない。

【第17条】被疑者の拘禁はその身柄が合衆国の手中にあるときは、日本国により公訴が提起されるまでの間、合衆国が引き続き行う「基地内に逃亡すれば日本当局による起訴が困難。合衆国の軍当局は：裁判権を行使する第一次の権利を有する(ii)公務執行中の作為若しくは不作為から生ずる罪」基地外での公務中の事件・事故は日本に裁判権がない。犯罪者は軍法で裁か

るようになった。

第6回組織部会参加報告

昨年12月16日・17日に本部と各協会を結ぶ組織部会がWeb併用で開催された。沖縄協会からは組織部長の山里と事務局の照屋が参加した。沖縄協会の組織活動の状況を報告し交流を行った。

催され、コロナ禍、物価高騰、オンライン資格確認義務化、オンライン請求義務化、紙保険証廃止等の動きの中で行われた。

医療経営が厳しくなり国民皆保険制度の崩壊も危ぶまれる中、協会の組織拡大の重要性の認識を共有することができた。各協会とも厳しい医療情勢の中で創意工夫を凝らして組織活動を強化していることが報告された。

今回の組織部会は、2022年度と2023年度の全協会の組織活動の総括を行い、今後の2年間の組織活動方針の策定の為に開催された。

第7回歯科社保部会レポート(12/9~12/10)

今回も日常診療を巡る多くの話題があった。以下に報告する。

①財政制度等審議会において、来年度の診療報酬改定にあたり単価の引き下げが求められた。しかし、海外先進国と比べ極めて低い診療報酬制度が継続する中、日歯会長の高橋氏は「その現実を知らないのか、無視しているのか」と反論し不快感を示したとのことである。

②歯科も歯科もコロナ禍で相当に落ち込んだ収益が徐々に元の水準に戻ってきている現象に対して、「医療機関の収入はアップして儲かっている」との発言がなされたことも報告された。『そもそもの視点の間違っている』との指摘が医療者側から出されている。

③キャッシュレス決済について、日歯は会員限定の低い手数料率をカード会社と交渉したとの報告があった。時流からすると、現状が「義務化に反対している」という状況である。

④オンライン請求義務化について、保団連はあくまでも反対していくことが確認された。以前より報告しているが、オンライン請求を否定しているのではなく、その義務化に反対している。副会長 樋口 豊

医療法改正(サイバーセキュリティ)による保健所の立ち入り検査

マイナ保険証、オンライン資格確認、電子カルテ標準化、電子処方箋、レセプトオンライン請求、診療報酬改定DXと次から次へと政府は医療DXの構築を進めている。オンライン資格確認が義務化され、医療機関はネットで世界に繋がりと、それに伴うサイバー攻撃も一段と脅威が増している。

診療情報を暗号化し身代金を要求するランサムウェアによる被害は後を絶たず、大病院に限らず地方の医療機関にまで広がっている。また、ランサムウェア以外のサイバー被害も例外ではない。ハッカーが暗躍する闇サイトでは膨大なアクセス情報が安価で売買され、脆弱なセキュリティホールを狙い突破するという。従って、医療DXとサイバーセキュリティ対策は車の両輪であり、厚労省は「医療情報システムの安全管理に関するガイドライン第6.0版」の策定と医療法の改定などで対策に乗り出した。

昨年3月の医療法改正でサイバーセキュリティを確保するための必要な措置を講ずることが明記され、早速、保健所の立ち入り検査が始まった。それに備える18項目からなるサイバー対策チェックリストと対応マニュアルは厚労省ホームページに掲載されている。また、愛知医科大学・深津博教授のセキュリティ講演が保団連HP研究会交流サイトで閲覧できる。

理事 照屋 正信

非核平和部会レポート(12/17)

昨年12月開催の保団連非核平和部会について、お伝えしたい内容を以下に報告する。

1、第2回核兵器禁止条約締約国会議

この会議は昨年12月1日、「核兵器の禁止を堅持し、その破滅的な結果を回避するための私たちの誓約(全35項目)」を宣言として採択し閉幕した。

NATO加盟国からも3カ国がオブザーバー参加したが、日本政府は「核保有国

が参加しておらず、その道筋もみえていない」という理由で今回も参加を見送った。だが、その姿勢は米国内の付度であり、核兵器廃絶を求める国際的な機運に對し目を背けているように見える。

核兵器保有国と非保有国との橋渡し役」と言うならば、まずは本会議にオブザーバー参加し、締約国と対話するとともに核軍縮に向けた実効ある取り組みを強く求めたい。

診療雑感 60 肥満が多い中でのやせも多い沖縄

オリブ山病院 譜久山 民子

沖縄県の健康課題の一つに「肥満」がある。県は健康増進計画「健康おきなわ21」で平均寿命の延伸を掲げる中で、重点課題の3項目の一つに「肥満対策」を挙げて対策をとってきたが、「やせ」の課題の認識を高めていく必要がある。

沖縄県の合計特殊出生率は全国で一番を誇っている。その中で、出生時の体重が低く、低体重児出生率が高い。全出生数に対して2500g未満出生数の割合「低体重児出生率」は、全国平均が9.2、沖縄10.9(令

2、D O B B I I D o n t Bank On the Bomb(核兵器製造企業への投資を止めさせよう！)

皆さんは、預貯金・投資・保険等、多様な形で金融機関を利用していらっしゃるでしょうか。その金融機関が預かった金を核兵器製造企業に投資していたら、私達の金(私達の意志と関係なく)核兵器製造に加担しているという見方もできる。それを止めさせようという試みがD O B B I I D o n t である。

最近「年金積立金管理運用独立行政法人」から核兵器製造企業への投資がド(学説(生活習慣病胎児期発症起源説)にはイギリスの著名な疫学者パーカー博士が提唱したもので、心筋梗塞・高血圧などで死亡した人々の中には妊娠中の母親の栄養状態が悪く、低体重で生まれた者が多いことを詳細な疫学調査で明らかにし、胎児期の低栄養などのストレスが成人後の

病気をもたらすという衝撃的な学説であった。後に概念が拡大され出生後の生育環境も影響することがわかり「D O H A D 学説」として確立された。沖縄の終戦時の壊滅的な状態で団塊の世代はこの影響をものを受け、今の肥満もこの影響は見逃せない。

報告されている。この法人は厚労省の所管で、厚生年金と国民年金の積立金の管理・運用を行っている。広く国民から集めた金も許容しない人は少なくないと考える。D O B B I I D o n t については何度が報告しているが、利用者として国民として、まずは実態を知って考えて意思を示すことが必要ではなからうか。

共済部だより 休業されたらすぐに協会にご連絡を! 2024年1月度休業保障共済保険給付実績(4件)

	口数	入院	自宅療養	給付金額
A先生	5口	0日	9日	270,000円
B先生	3口	35日	0日	840,000円
C先生	3口	0日	61日	1,098,000円
D先生	5口	13日	79日	2,890,000円

会員紹介推進キャンペーン 未入会の先生を紹介しご入会頂くとクオカード3,000円分を贈呈! 是非、友人・ご家族等お知り合いの先生をご紹介下さい! ※FAXまたはお電話にて協会事務局までご連絡下さい。

# この本に教わった ⑬ 「あのころはフリードリヒがいた」 ハンス・ペーター・リヒター著 岩波少年文庫

前回、排除ベンチのことを書きながら、この小説を思い出し再読しました。舞台はナチスが政権をとり、ユダヤ人迫害を次々と進めていく1930〜40年代のドイツです。主人公の「僕」は、同じアパートの住民で同じ年のフリードリヒ・シュナイダーと仲良しです。物語は彼らの幼年期から少年時代にいたる出来事、とりわけユダヤ人迫害が次第に激しくなっていく様子を中心に進んでいきます。郵便局長だったフリードリヒのお父さんは郵便局を首になり家族は困窮していきます。フリードリヒは「僕」と同級生でしたが、1934年に学校から追い出されユダヤ人学校に転校になりました。プールや映画館にもユダヤ人は入場できなくなりました。身分を隠して入場したことがばれると激しいのしりにあいます。友人である「僕」も「ユダヤ人」とつきあうと大変なことになると脅されます。一方「僕」のお父さんは、ユダヤ人迫害には反感を持ちながらも、良い職を得るためにナチスに入党します。こうしてユダヤ人とドイツ人は分断され、差別が日常的になっていきます。1938年、ユダヤ人青年がドイツの外交官を射殺した事件に報復するため、ナチスはユダヤ人が経営する商店への襲撃を煽りました。粉々に壊れた窓ガラスの様子から、水晶の夜事件と呼ばれるこの集団的暴力はドイツ全土に広がりました。本書では、フリードリヒの自宅にも興奮した群衆が押し寄せ、フリードリヒの家が激しく荒される様子が克明に描かれ、胸が痛みます。

「ベンチ」というタイトルの章があります。14歳になったフリードリヒの初恋です。ヘルガという少女とひかれあい、二人は公園でデートをします。ベンチに座りましょうとヘルガに促されたフリードリヒはなかなかベンチに座ることができません。ユダヤ人はユダヤ人差別の象徴の色である黄色く塗られた「ユダヤ人専用ベンチ」に座らないといけないからです。事情を察したヘルガは、ひるむことなくユダヤ人ベンチにフリードリヒを誘い一緒に座ります。ヘルガから来週も会いましょう、ユダヤ人ベンチがないもつと遠い公園に行きましょうと誘われま

すが、悩んだ末にフリードリヒはヘルガと会うことをあきらめるのです。日本の排除ベンチはナチス時代のユダヤ人専用ベンチとは異なりますが、私には根っこでこの二つのベンチがつながっているように思えてなりません。知らないうちに、排除と差別が日常化し、排除される人の痛みを感じられなくさせられていく。今そのことが無意識に広がっているのではないのでしょうか。過去の忌まわしい事件ではないと思ふのです。



オリブ山病院 横田 泉

## 2024年(令和6年) 辰年生まれ 年頭抱負

あおば歯科医院 山城 隆男

保険医協会の先生、スタッフの方々、日頃からお世話になっております。糸満で開業して早31年が過ぎました。紆余曲折ではありますが、先生、スタッフの協力、患者さんの理解の上、現在に至ることができました。

私自身、年男で還暦という節目の年を迎え、尚一層診療に励んでいきたいと思っております。

当院は本島では一番南にある診療所(多分)で、農

### 医科学習会のご案内

参加無料

#### 認知症の最新知見と新薬治療

講師:城間 清剛 先生(城間クリニック院長)

日時:2月29日(木)19時~20時30分

参加方法:オンライン(ZOOMウェビナー)

事前登録はこちら→

### 会員限定 歯科施設基準対応研修会の「e-ラーニング」のご案内

この度、長崎県保険医協会のご協力のもと、歯科の施設基準の要件に係る研修が「e-ラーニング」により受講できることとなりました。「歯初診」に関する受講のみを選択することもできます。

### 新聞投稿募集中!

沖縄保険医新聞では下記の原稿を募集しています。ご投稿して頂いた会員にはクオカード3千円分を贈呈します!ぜひ、ご検討ください。皆様のご応募をお待ちしております。

- ①「診療雑感」…日常診療での出来事や、感じていることなど
- ②「書評・映画演劇音楽絵画・エッセー・写真」…テーマは自由

お気軽に協会事務局までご連絡ください。

### 受講内容が関係する施設基準

- ・ 歯科点数表の初診料の注1に規定する施設基準(歯初診)
- ・ 歯科外来診療環境体制加算1及び2(外来環)
- ・ かかりつけ歯科医機能強化型歯科診療所(か強診)
- ・ 在宅療養支援歯科診療所1及び2(歯援診)

【随時加入受付中】

#### 「団体サイバー保険」

2023年10月1日より導入しました。

#### 「団体所得補償保険」

2023年9月1日より導入、「休業保障保険」の補完・上乗せとしても活用可能!

詳しい内容や資料請求のお問合せは、保険医協会事務局までご連絡ください。

協会会員であれば、オンラインにより無料で研修が受講できます。受講を希望される場合は、沖縄県保険医協会へご連絡をお願いします。研修動画を視聴していただき、最後にテストを受けていただきます。後日、事務局にて視聴時間及びテストの結果を確認した上で、受講修了証を郵送いたします。ぜひご利用ください。

### 1962年

- 2月 東京都人口1千万人突破
- 5月 NEC国産初大型電子計算機
- 5月 常磐線三河島駅で衝突事故
- 5月 西独でサリドマイド奇形児問題化

### 1960年

- 1月 キューバ革命
- 4月 皇太子結婚。ミッチーブーム
- 8月 松川事件差し戻し。三池争議始め
- 9月 伊勢湾台風。死者5千人超
- 11月 安保闘争デモ2万人

### 1961年

- 1月 三井三池無期限スト
- 4月 沖縄復帰協 結成
- 5月 新安保条約を強行採決
- 6月 安保闘争デモ国会包囲
- 6月 安保反対デモ全国580万人
- 7月 新安保条約 自然承認・発効
- 7月 岸首相 退陣
- 9月 カラーテレビ放送開始
- 10月 浅沼稲次郎 刺殺される
- 12月 南ベトナム解放戦線 結成

### 1964年

- 4月 IMF8条国に移行
- 4月 米ジェット機町田市商店街に墜落
- 9月 大和、厚木に米ジェット機墜落
- 10月 東京オリンピック 開幕
- 11月 中国 核実験
- 11月 米原潜 佐世保に入港
- 11月 公明党 結成

### 1965年

- 1月 「期待される人間像」
- 2月 米軍北ベトナム爆撃
- 4月 ベ平連 初のデモ
- 6月 家永三郎教科書裁判 提訴
- 11月 日韓基本条約 調印
- 11月 戦後初の赤字国債発行決定

### 1966年

- 2月 全日空機 羽田沖に墜落
- 3月 総人口1億人突破
- 5月 中国文化大革命 紅衛兵
- 6月 ビートルズ来日
- 12月 衆議院解散(黒い霧解散)

### 1967年

- 4月 美濃部亮吉 都知事当選
- 5月 朝日訴訟最高裁判決
- 8月 公害対策基本法 公布 施行
- 9月 大気汚染公害訴訟(四日市)
- 11月 那覇市十万人 即時無条件返還要求県民大会

益田 総子  
千葉県出身。1967年、東京大学医学部卒業。現在、神奈川診療所に勤める。

### 神奈川県保険医新聞より転載⑬

#### 沖縄について学んだこと

#### 本土と沖縄 59〜67年

### 1963年から

- 8月 原水禁大会 ソ連の核実験で紛糾
- 10月 キューバ危機
- 辛抱して4年分書き連ねてみましたが、この方式は退屈です。色々あったのは分かりますが、全体像がつかめません。沖縄がほとんど登場しません。
- しかし、ゲラになったものを眺めると案外わかりやすいような感じがします。

### 1963年から

- 3月 吉展ちゃん誘拐事件
- 5月 狭山事件
- 7月 中ソ対立 激化
- 8月 原水禁世界大会 分裂(部分核停)
- 9月 松川事件 全員無罪確定
- 11月 鶴見事故(死者161人)
- 三池炭鉱 爆発(死者458人)
- ケネディ大統領 暗殺

こんな調子で5年分ですが、今回はこれで終了です。